

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	トレーニングの中断がアスリートの骨格筋の量・質・機能に及ぼす影響
倫理審査委員会承認番号	2021-055
研究開始日	2021年12月20日
研究終了日	2023年12月31日
研究目的	シーズンオフを迎えるアスリートを対象に、約2週間トレーニングを中断してもらい、その前後の筋量・質・機能の変化を明らかにすることを目的とします。
研究対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・大学体育会に所属する男女運動部員 ・シーズンオフなどで2週間のトレーニングを中断される方 ・測定の影響となる障害、疾病、痛みのない方 ・MRI禁忌に該当しない方
研究概要	<p>本研究はトレーニング中断前後に2回、筋の量・質・機能に関する測定を行います。</p> <p>【全体的な流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回の測定はオフシーズン直前に行います。 ・2週間、トレーニングを中断してもらいます。 ・2回目は2週間のトレーニング中断後に行います。 <p>【測定項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①大腿部筋断面積測定（MRI） ②体組成測定（インピーダンス法） ③筋硬度測定（超音波法） ④等速性膝関節最大伸展屈曲筋力測定 ⑤伸張性膝関節屈曲筋力測定 ⑥下肢パワー測定（反動ジャンプ） ⑦下肢の連続したパワー測定（立ち5段跳び） ⑧疾走スピード測定（10m走）
研究に用いる情報の種類	年齢、身長、体組成、体重、大腿部筋断面積、筋硬度、等速性膝関節最大伸展屈曲筋力、伸張性膝関節屈曲筋力、ジャンプ高、立ち5段跳び距離、10m走速度
研究の資金源 研究に係る利益相反及び 個人の収益	<p>○本研究に係る利益相反はありません。</p> <p>○本研究は、スポーツ庁受託事業である「スポーツ支援強靱化のための基盤整備事業」にて実施します。</p>
研究責任者	山下大地・スポーツ科学部
研究分担者	<p>山岸卓樹・スポーツ科学部</p> <p>山崎和也・機能強化ユニット</p> <p>宮本直和・順天堂大学</p> <p>平田浩祐・早稲田大学スポーツ科学学術院</p> <p>山崎一彦・順天堂大学</p> <p>山田陽介・国立健康・栄養研究所</p> <p>Iñigo Mujika・バスク大学</p>
問合せ先	<p>山下大地・スポーツ科学部</p> <p>電話番号：03-5963-0231</p> <p>E-mail：daichi.yamashita@jpnsport.go.jp</p>